

E A 2 1



2021
環境経営レポート
2021年4月～2022年3月



®環境省
エコアクション21
認証番号 0013196

目次

	ページ
会社概要	2
対象範囲	2
許可	3
環境経営方針	4
体制・役割・権限	5
環境経営計画	6
環境経営計画目標および結果	7～8
環境データ	9
コンプライアンス	10
コンプライアンス活動	11～12
社内コミュニケーション	13～14
教育・訓練	15～17
活動事例	18～20
社会貢献活動	21～23
代表者による全体の評価と見直し・指示	24

1. 会社概要

会社名	株式会社EJサービス
資本金	92百万円
本社所在地	〒029-4503 岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根森山4番地18
設立	2015年（平成27年）7月1日
代表者名	取締役社長（代表取締役） 菅野 告
環境統括者	取締役 川口 興志
環境管理責任者	管理部 安全・環境室長 中村 悦郎
URL	http://www.ej-service.co.jp/
従業員数	473名（2022年3月現在）
売上高	8,442百万円（2021年年度）

2. 対象範囲

対象範囲	岩手地区・宮城地区・東富士地区 ※山梨事業所(山梨県南アルプス市徳永1500番地)については ISO14001で活動中の為対象外
本社所在地	〒029-4503 岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根森山4番地18 Tel: 0197-44-5005 Fax: 0197-44-5006
設立	2015年（平成27年）7月1日
代表者名	取締役 川口 興志
主な事業	トヨタ自動車東日本の建築・土木・設備・電気工事の施工管理 ビル清掃、厚生施設管理、警備、産業廃棄物収集運搬 トヨタ自動車東日本従業員向けの各種保険窓口、旅行代理店業務 売店・自販機および物品販売、住宅メーカーの施工管理

3. 許可

産業廃棄物収集運搬業

産業廃棄物収集運搬業許可証（岩手県）

許可番号：00300000627号

許可年月日：平成29年12月15日

有効年月日：令和4年12月14日

事業の範囲：収集運搬（積替え・保管を除く）

廃棄物の種類：汚泥、廃油、廃アルカリ、廃プラ類、木くず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類
運搬車両の種類・台数：アームロール車1台

産業廃棄物収集運搬業許可証（神奈川県）

許可番号：01401000627号

許可年月日：平成29年4月1日

有効年月日：令和4年3月31日 ※令和4年7月1日許可更新済：新許可期限 令和9年3月31日

事業の範囲：収集運搬（積替え・保管を除く）

廃棄物の種類：汚泥、廃油、廃アルカリ、廃プラ類、木くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず
運搬車両の種類・台数：トラック1台

産業廃棄物収集運搬業許可証（静岡県）

許可番号：02201000627号

許可年月日：令和3年3月1日

有効年月日：令和8年2月28日

事業の範囲：収集運搬（積替え・保管を除く）

廃棄物の種類：汚泥、廃油、廃アルカリ、廃プラ類、木くず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず
運搬車両の種類・台数：アームロール車1台

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可証（岩手県）

許可番号：00350000627号

許可年月日：平成30年7月12日

有効年月日：令和5年7月11日

事業の範囲：収集運搬（積替え・保管を除く）

廃棄物の種類：廃油、廃アルカリ汚泥
運搬車両の種類・台数：トラック1台

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可証（静岡県）

許可番号：02251000627号

許可年月日：令和1年11月2日

有効年月日：令和6年11月1日

事業の範囲：収集運搬（積替え・保管を除く）

廃棄物の種類：引火性廃油、腐食性廃酸
運搬車両の種類・台数：トラック1台

一般廃棄物処理業許可証（横須賀市）

許可番号：34号

許可年月日：令和2年10月1日

有効年月日：令和4年9月30日

事業の範囲：一般廃棄物収集運搬（積替え・保管除く）

廃棄物の種類：一般廃棄物（ごみ）

運搬車両の種類・台数：キャブオーバー1台

※令和4年10月1日許可更新済：新許可期限 令和6年9月30日

一般廃棄物処理業許可証（金ケ崎町）

許可番号：第2-9号

許可年月日：令和3年3月1日

有効年月日：令和5年2月28日

事業の範囲：収集・運搬（積替え・保管除く）

廃棄物の種類：一般廃棄物（し尿・浄化槽汚泥除く）

運搬車両の種類・台数：ダンプ1台、2トン車1台

建設業

建設業許可(一般)

許可番号：国土交通大臣 許可(一般-1)第16672号

許可の有効期限：令和2年3月20日から令和7年3月19日

建設業の種類：消防施設工事業

建設業許可(特定)

許可番号：国土交通大臣 許可(特-1)第16672号

許可の有効期限：令和2年3月20日から令和7年3月19日

建設業の種類：土木工事業、大工工事業、屋根工事業、管工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、板金工事業、塗装工事業、内装仕上工事業、建具工事業、解体工事業、建築工事業、左官工事業、石工事業、電気工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、鉄筋工事業、しゅんせつ工事業、ガラス工事業、防水工事業、熱絶縁工事業、水道施設工事業、とび、土工事業

4. 環境経営方針

【企業理念】 トヨタ基本理念を踏襲

トヨタ基本理念

1. 内外の法およびその精神を遵守し、オープンでフェアな企業活動を通じて、国際社会から信頼される企業市民をめざす
2. 各国、各地域の文化・慣習を尊重し、地域に根ざした企業活動を通じて、経済・社会の発展に貢献する
3. クリーンで安全な商品の提供を使命とし、あらゆる企業活動を通じて、住みよい地球と豊かな社会づくりに取り組む
4. 様々な分野での最先端技術の研究と開発に努め、世界中のお客様のご要望にお応えする魅力あふれる商品・サービスを提供する
5. 労使相互信頼・責任を基本に、個人の創造力とチームワークの強みを最大限に高める企業風土をつくる
6. グローバルで革新的な経営により、社会との調和ある成長をめざす
7. 開かれた取引関係を基本に、互いに研究と創造に努め、長期安定的な成長と共存共栄を実現する

<1992年1月制定、1997年4月改定>

【環境経営方針】

1. 国や地方自治体などの環境法規制及び当社が同意したその他の要求事項を遵守します。
2. 提供する製品やサービスなどを通じ環境負荷低減に貢献します。
3. 温室効果ガスの排出削減に努めます。
4. 廃棄物を低減するため、リデュース・リユース・リサイクル活動を推進します。
5. 地域社会とのコミュニケーションを図り、地域環境保護活動に貢献します。
6. この環境方針達成のため、環境目的・目標を設定し、定期的に見直し、継続的改善に努めます。

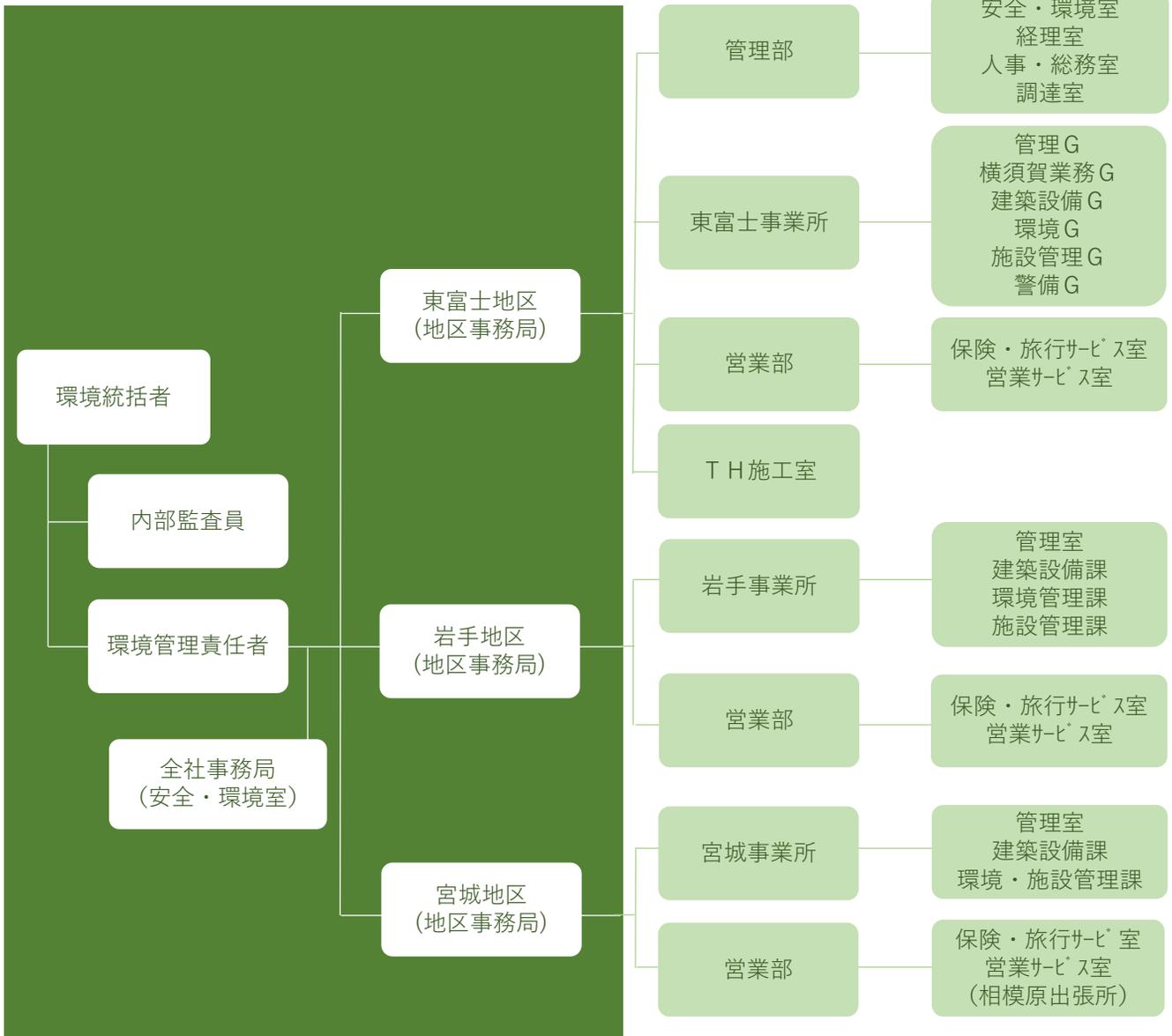
この環境経営方針は、従業員へ周知するとともに利害関係者へ開示します。

制定日：2019年10月1日

改訂日：2021年10月1日

環境統括者：川口 興志

5. 体制・役割・権限



※推進責任者:部 所長

※推進者:室 課長

役割および責任権限	統括者	管理責任者	内部監査員	全社事務局	推進責任者	地区事務局	推進者
適用範囲・活動の明確化				◎	○		
代表者による経営課題とチャンスの明確化	◎	○		○			
環境経営方針の策定	◎						
環境負荷と環境への取組状況の把握および評価					◎	○	○
環境関連法規などの取りまとめ				◎		○	
環境経営目標及び環境経営計画の策定					○	○	◎
実施体制の構築		◎			◎		
教育・訓練の実施						◎	◎
環境コミュニケーションの実施				◎		◎	
実施および運用					◎	◎	◎
環境上の緊急事態への準備および対応					○	◎	◎
文書類の作成・管理				○		◎	○
当事業所状況の確認・評価、ならびに問題の是正および予防		○	◎	◎			
代表者による全体の評価と見直し・指示	◎	○		○			
環境経営レポートの作成および公表と活用	◎	◎		○		◎	

6. 環境経営計画・目標



2021年度 環境活動方針

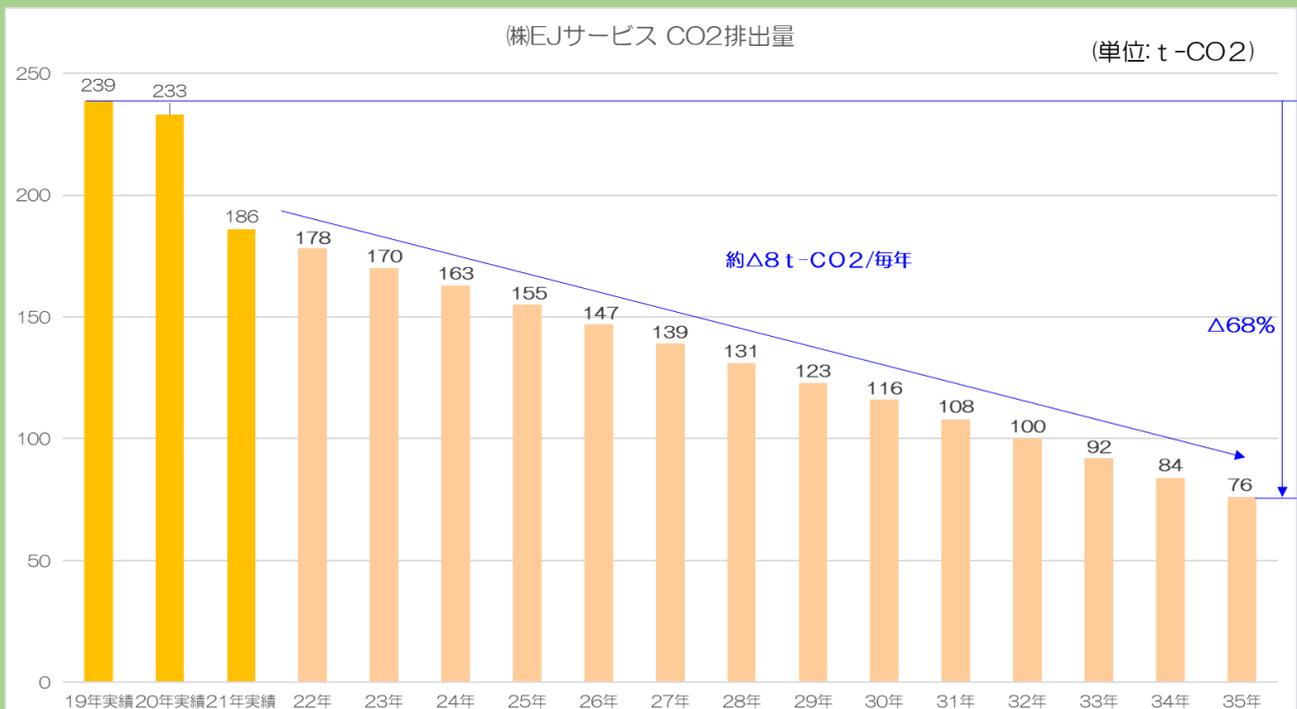


考え方	重点取り組み
コンプライアンス 環境パトロールを通じて法令違反・苦情防止活動と化学物質リスクアセスの精度向上 	1) 現場ごとに異なる適用法令の遵守状況確認とコミュニケーションによるお互いのレベルアップ 2) 化学物質の取り扱い現場でのコミュニケーション強化による化学品に対する理解の向上活動 3) 環境改善会議を利用し、コンパクト勉強会実施
環境負荷低減の取り組み 事業の本質(TMEJへサービス提供)からTMEJへ貢献を含めた環境負荷低減推進   	本来業務での取組推進 次の取組みを本来業務を通じて推進する <ul style="list-style-type: none"> ・CO2削減 ・廃棄物削減(産業廃棄物、もやすごみ) ・水使用の削減 ・化学物質使用量削減 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 階層別 <ul style="list-style-type: none"> ・自社でできる活動 ・TMEJへ貢献できる活動 </div>
人材育成 継続実施(リモート導入検討) <ul style="list-style-type: none"> ・地峡環境変化の認識向上 ・化学物質への理解を深める 	1) 管理者教育後に自部署で教育実施 ⇒環境多方面化に対応できる知識と意識付け 2) 化学物質教育実施と環境改善活動推進 現場でのリスクを具体化し、教材に取り入れ継続 3) CSRでの環境意識啓蒙
環境マネジメント 当事者意識を持った取組み推進  	1) EA21を全社展開 <ul style="list-style-type: none"> ・宮)EA21をベースに岩)東)への活動展開 ・下期に認証取得 2) エコ委員会の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・目標進捗フォローのほか、「冬期付け要因を高める」 例えば動画で環境話題などのトレンド発信

CO2削減 中長期目標

※国際認証制度推進に向けた取組

2019年度CO2排出量実績から2035年までに68%の削減を目指す



7. 環境経営計画達成への取組

1) 東富士地区

部署	カテゴリー	取組内容	目標値	実績	評価
オール東富士	CO2、廃棄物、水使用削減	節電・節ガソリン・節水・3Rに関する行動を実行する活動(22項目) ※エネルギー使用量は親会社の使用量に含まれ把握できない為、3年計画で実行していく環境行動を決めて活動を実施。	3年計画での目標 ・2021年度5以下/1人 ・2022年度4以下/1人 ・2023年度3以下/1人 実行出来なかった項目数 目標4840項目以下	1052項目	○
	CO2低減	上記の結果として、社有車ガソリンの低減を目指す。但し、 目標値は努力目標 とする。	ガソリン使用量 前年比81%	89%	×
管理G	廃棄物削減	分別徹底活動によるもやすごみ削減	12.2kg	1.2kg	○
建築設備G	本来業務による環境活動	VE・VA提案によるお客様への貢献	提案1件あたりのCO2削減量13.4kg-CO2以上12件	12件	○
	工事現場での環境活動	日々の活動、産業廃棄物削減活動、コミュニケーション・教育活動、現場点検活動	計画実施率100%	100%	○
施設管理G	本来業務による環境活動	受託している自動車廃棄シートを分別する際の廃棄部分を低減	廃棄物率22.5%以下	20.99%	○
		収集運搬車両からの積荷飛散防止、作動油漏洩予防点検	点検実施率100%	100%	○
警備G	本来業務による環境活動	警備区域から外への油流出を警備の視点で予防する	流出0件	0件	○
安全・環境室	未然防止	環境パトロールを通じた未然防止活動	指摘改善率100%	100%	○
	室員の環境意識向上	環境トレンドをキャッチし輪番制で室員に展開する	実施率100%	100%	○
経理室	廃棄物削減	裏紙使用促進	削減数1160枚	1357枚	○
		プラ窓付き封筒使用削減	削減数800枚	981枚	○
人事・総務室	業務改善	残業低減による節電	想定電力使用量 前年比7%減 276kw	314kw	×
		育児介護関連帳票、私有車業務上使用許可の電子化	削減数84枚	191枚	○
調達室	業務改善	紙ベース調達業務を電子化するための業務調査	電子化移行への検討ミーティング 12回	12回	○
		A C業務でのやり直し作業の削減	やり直し発生件数0件	0件	○
営業サービス室	業務改善	業務改善提案	12件	11件	×
保険・旅行サービス室	廃棄物削減	契約書ペーパーレス化(電話募集対象)	対象契約100%	100%	○
TH施工室	廃棄物削減	販売店施工現場の混合廃棄物の混合率を下げる	混合率 上期22%以下	22.6%	×
			混合率 下期19%以下	19%	○

7. 環境経営計画達成への取組

2) 岩手地区

部署	カテゴリー	取組内容	目標値	実績	評価
オール岩手	CO2低減	各G環境提案活動推進	提案件数 99件	118件	○
管理G	CO2低減	低燃費運転推進 注意喚起 啓発 改善アイテムの提案等	削減量1.261kg-CO2 ガソリン・軽油（除雪車） ・LPG	1.514kg-CO2	○
建築設備G	CO2低減	客先のCO2削減に寄与する提案 ・見積時のVE/CO2排出低減 ・客先提案活動、エネルギー、水、 廃棄物、材料など、低減	提案件数 86件	86件	○
保険G	CO2低減	更新手続等の簡素化 紙用紙・工数低減等	320件	690件	○

3) 宮城地区

部署	カテゴリー	取組内容	目標値	実績	評価
オール宮城	CO2低減	低燃費運転	ガソリン 16.810kg-CO2	ガソリン 13.739kg-CO2	○
			軽油 5.477kg-CO2	軽油 5.575kg-CO2	×
	廃棄物削減	年休取得奨励等 各室環境提案活動推進	年休取得 538日	年休取得 780日	○
			134件	135件 ※2022年1月より 在宅勤務日数含む	
廃棄物削減	廃棄物の分別 環境教育 エコキャブ回収運動	一般廃棄物 231kg	一般廃棄物 230kg	○	
		エコキャブ 18kg	エコキャブ 22kg	○	

8. 環境データ

2021年度実績（2021年4月～2022年3月）

カテゴリー		単 位	東富士	宮 城	岩 手	合 計
エネルギー 使用量	電力 ※岩)CO2排出係数:0.521	Kwh	— ※	— ※	86,342	86,342
	灯油	L	0	0	1,510	1,510
	LPG	Kg	— ※	— ※	109	109
	ガソリン	L	18,994	5,917	14,808	39,719
	軽油	L	1,691	2,402	12,966	17,059
エネルギーCO2排出量合計		kg-CO2	48,534	20,040	117,480	186,054
もやすごみ排出量		Kg	45	230	17	292
水使用量		m ³	— ※	— ※	288	288
産業廃棄物排出量		Kg	238,380	2,470	25,730	266,580
特別産業廃棄物排出量		Kg	0	235	514	749
収集運搬量		t	85	0	158	243
化学物質使用量		kg	0	0	240	240

※宮城地区・東富士地区（2020年11月より）が賃貸オフィスの為、使用量が把握できません。

2020年度実績（2020年4月～2021年3月）

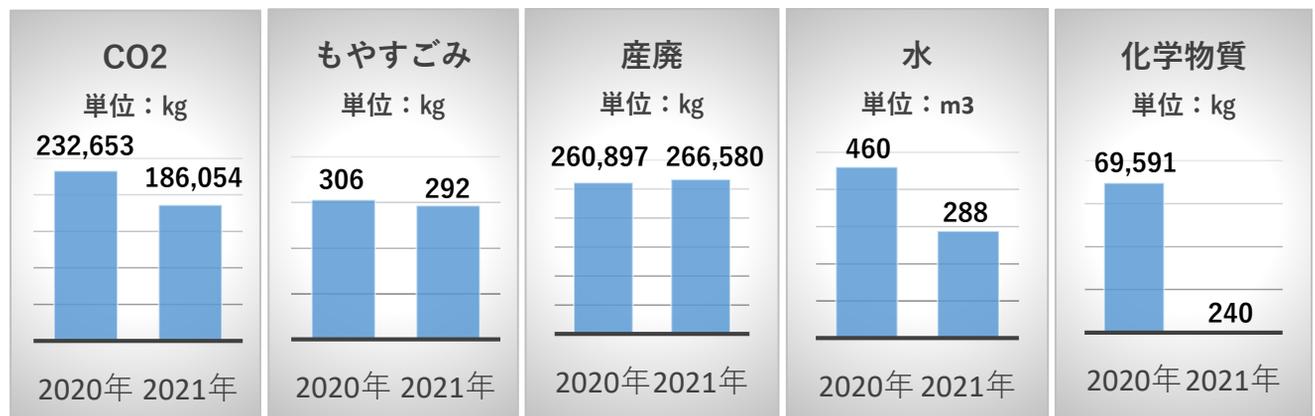
カテゴリー		単 位	東富士	宮 城	岩 手	合 計
エネルギー 使用量	電力 ※東)CO2排出係数:0.441 ※岩)CO2排出係数:0.521	Kwh	30,306 ※2	— ※1	90,098	120,404
	灯油	L	0	0	963	963
	LPG	Kg	3.6 ※2	— ※1	73	77
	ガソリン	L	21,287	7,672	18,413	47,372
	軽油	L	2,404	2,143	18,215	22,762
エネルギーCO2排出量合計		kg-CO2	69,106	23,436	140,111	232,653
もやすごみ排出量		Kg	63	222	21	306
水使用量		m ³	— ※3	— ※1	460	460
産業廃棄物排出量		Kg	147,276	858	112,763	260,897
特別産業廃棄物排出量		Kg	0	0	875	875
収集運搬量		t	111	0	183	294
化学物質使用量		kg	69,078	0	513	69,591

※1宮城地区は賃貸オフィスにより使用量が把握できません。 ※2東富士地区2020年4月～11月迄の使用量。

※3親会社の使用量に含まれる為、把握できません。

前年比較

カテゴリー		単 位	東富士	宮 城	岩 手	合 計	
エネルギー 使用量	電力	Kwh	▲30,306	—	▲3,756	▲34,026	72%
	灯油	L	0	0	547	547	157%
	LPG	Kg	▲4	—	36	32	142%
	ガソリン	L	▲2,293	▲1,755	▲3,605	▲7,653	84%
	軽油	L	▲713	259	▲5,249	▲5,703	75%
エネルギーCO2排出量合計		kg-CO2	▲20,572	▲3,396	▲22,631	▲46,599	80%
もやすごみ排出量		Kg	▲18	8	▲4	▲14	95%
水使用量		m ³	—	—	▲172	▲172	63%
産業廃棄物排出量		Kg	91,104	1,612	▲87,033	5,683	102%
特別産業廃棄物排出量		Kg	0	235	▲361	▲126	86%
収集運搬量		t	▲26	0	▲25	51	83%
化学物質使用量		kg	▲69,078	0	▲273	▲69,351	3



9. コンプライアンス

適用法令と順守状況

1) 違反・苦情の発生状況

コンプライアンス違反および苦情の発生はありませんでした。

また、関係当局からの違反等の指摘もありませんでした。

2) 適用法令及びその順守状況の結果等

法令等の名称	対象設備・役務等	確認月	確認結果
家電リサイクル法	エアコン、TV、冷蔵冷凍庫、洗濯機衣類乾燥機	実績なし	
建設リサイクル法	建設工事、解体工事	実績なし	
自動車リサイクル法	社有車	実績なし	
廃棄物処理法			
収集運搬処理業	許可証 契約書類締結 収集運搬車両に係る表示 携帯義務確認	7月	適合
排出事業者	保管状況 マニフェスト保管 契約書類締結 年間排出量の報告	9月	適合
フロン排出抑制法	東富士・宮城・岩手地区売店の 冷蔵ケース、冷凍ケース	9月	適合
騒音・振動規制法	岩手事業所コンプレッサー、シャーリング	9月	適合
消防法	岩手事業所少量危険物貯蔵取扱所	9月	適合
浄化槽法	岩手事業所浄化槽	9月	適合
条令	産業廃棄物に関する条例 委託先調査の実施	9月	適合

確認方法：順守項目はチェックリストにより確認しています。

10. コンプライアンス活動

1) 内部監査

9月に東富士地区・宮城地区・岩手地区の内部監査を実施。結果は下記のとおりです。

	東富士地区	宮城地区	岩手地区
指摘事項	1件 ①	0件	1件 ②
指導事項	1件	1件	3件

指摘事項の内容

- ①環境経営方針カード未配布
- ②廃棄シンナーの指定場所外保管



共に是正および再発防止済。

2) 環境パトロール

現場で見過ごしているリスクの発見やルールへの順守状況確認など、未然防止活動を計画的に実施しています。



収集運搬業務

運搬許可・契約期間、車両への搭載書類、漏洩飛散防止に関するルール順守状況など現地で確認

排水処理場
バルブの表示と表示通りの運用



産業廃棄物置場表示物・保管量の適切性

3) CSRミーティング

時節に合ったテーマで各部署毎に話し合うスタイルで毎月実施しています。

【事例】 脱炭素・カーボンニュートラルで話し合った6月（環境月間）の資料を紹介します。

1. 脱炭素・カーボンニュートラルの前に

① 地球温暖化のしくみ

200年前の地球
温室効果ガスが少なかったころは熱が宇宙に逃げやすかったので気温が上がらない

今の地球
温室効果ガスが増えて大気から熱が宇宙に逃げにくくなって気温が上がる

② 温室効果ガスって？

「温室効果ガス」は私たちの生活から生まれています。

二酸化炭素 (CO₂)

化石燃料(石炭、石油、天然ガスなど)の燃焼で発生

メタン (CH₄)

牛・羊などのゲップ、生ゴミなどから放出

一酸化二窒素 (N₂O)

堆肥、尿、糞尿などから発生

フロン

エアコンや冷蔵庫に使われている

③ なぜ二酸化炭素(CO₂)が注目されるのか

温室効果ガス削減に占めるガス排出量の内訳

二酸化炭素 76.0%

■ 二酸化炭素
■ メタン
■ 一酸化二窒素
■ その他

④ CO₂は、いつ?どこで?発生しているのか

二酸化炭素(CO₂)の排出量(電気・熱等を除く)エネルギー起源

93.0%

■ エネルギー起源
■ その他

⑤ エネルギー起源の例

- ・火力発電所の石炭
- ・鉄鋼業のコークス
- ・自動車のガソリン
- ・暖房の灯油
- ・・・などの化石燃料

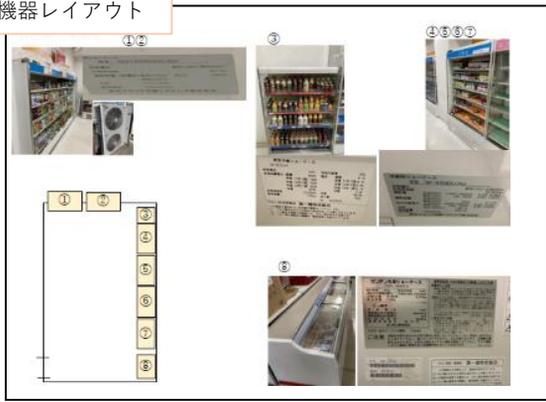
10. コンプライアンス活動

5) 積極的な冷蔵機器の点検（各地区営業サービス室）

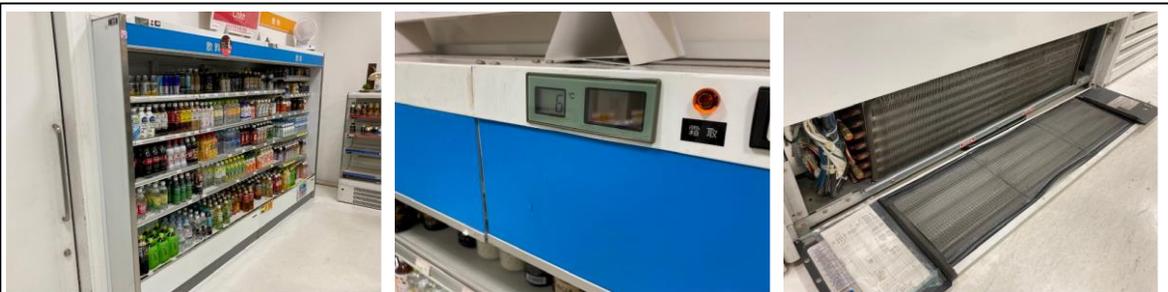
親会社の従業員向け売店に設置している冷蔵冷凍機器に対して、フロン排出抑制法に基づく簡易点検を毎月実施することで、フロン漏洩の未然防止に努めています。代替フロンは、オゾン層に悪影響を及ぼさないものの温室効果がCO2の100倍から1万倍のガスであることから、温暖化防止の思いで毎月点検し記録しています。

点検表

機器レイアウト



冷蔵機21台、冷凍機6台を管理



当社の冷媒機器（保冷温度・異音・水漏れ・フィルター目詰まりに気を配っています。）

6) 警備業務を通じた敷地外漏洩未然防止活動（東富士地区）

受託した警備区域では、巡回業務に環境目線を取り入れて、漏洩の早期発見に努め、敷地外への漏洩を未然防止すると共に、お客様のコンプライアンスに寄与する活動を行っています。

見逃しの無いよう、チェックリストで確認しています。

総合センター巡回チェックシート（空白） 巡回点検実施日：2021年 9 月 7 日

点検項目	確認	センター	各型	ポンプ	油圧	三層	約10層	ポンプ	各型	三層	約10層	ポンプ	各型	三層	約10層	備考
1 漏洩	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2 騒音	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3 電気	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
4 取付	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
5 清掃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6 点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
7 歩行	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
8 点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
9 点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
10 点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
11 点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12 点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
13 点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
14 点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
15 点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
16 点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
17 点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
18 点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
19 点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
20 点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
21 点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
22 点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
23 点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
24 点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

11. 社内コミュニケーション

1) エコ委員会

(東富士地区事例)

身近な出来事から規模の大きな問題まで、各部署が持ち回りで旬な環境トレンドを紹介する活動をしています。自ら調べることで新たな発見や問題意識の向上に役立っています。

(トレンド事例)

脱炭素が叫ばれる中、横須賀市で石炭火力発電所の建設が進んでいるようだ。電力供給量の調整には火力発電が不可欠のようだが、このままで良い訳ではない。

横須賀市久里浜 石炭火力発電所⇒



(岩手地区事例)

毎月開催されるエコ委員会ではコンプライアンス違反防止として、イベントを年間計画に織り込み結果を報告。共有し委員全員で認識を合わせています。また各課の活動内容を報告し、横展に繋げ省エネなどに取り組んでいます。

課	項目	2022年3月	2022年4月	2022年5月	2022年6月	2022年7月	2022年8月	2022年9月	2022年10月	2022年11月	2022年12月
CO2	CO2削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
廃棄物	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
水	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
化学物質・別	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

課	項目	2022年3月	2022年4月	2022年5月	2022年6月	2022年7月	2022年8月	2022年9月	2022年10月	2022年11月	2022年12月
電力消費	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	削減率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

PCB使用製品及びPCB廃棄物の処分期間が迫っています

高濃度PCB廃棄物の処分期間 (廃域内)

PCBが使用されている主な電気機器

処分していないPCB廃棄物回収の危険性がありますか?



(宮城地区事例)

毎月、各室課の環境提案、産廃・一般廃棄物排出量、ガソリン使用量等の活動実績を報告。目標未達の場合は原因を確認、目標の見直し等、フォローを行う場として活用しています。その他、環境に関する情報を共有しています。

- 宮城地区
3月度 ECO委員会
2022年3月28日(月) 16:00 - 16:30
- 活動計画進捗状況
 - 先月の課題
 - 2月の活動結果 (各排出量、エコキャップ運動等)
 - 各室課 実施計画、環境提案
 - 今月の良い提案
 - 環境パトロール報告
 - まとめ

② 車庫の特性を生かしたECOドライブ
⇒資料を作成、ボードへ掲示

私のパソコンが環境を
～アプリアてくれるインターネット～

ECOドライブやエコアクションに関する情報共有

1 1. 社内コミュニケーション

2) 環境改善会議

年度方針の伝達、各部署活動報告、計画進捗状況のレビュー・指示、法令改正の解説・伝達、良い提案の展開など、四半期に一度開催する会議。

3月

1. 前回会議の展開状況
2. 方針展開状況
3. 2021年度活動方針
4. 環境動画
5. 法令改正情報
6. まとめ

5月

1. 前回会議の展開状況
2. 方針展開状況
3. 各地区活動計画
4. 法令改正情報
5. まとめ

9月

1. 前回会議の展開状況
2. 方針展開状況
3. EA21活動状況
4. 法令改正情報
5. 法令ミニ勉強会
6. まとめ

12月

1. 前回会議の展開状況
2. 方針展開状況
3. EA21審査状況
4. 法令改正情報
5. まとめ

12. 教育・訓練

1) エコアクション21教育

宮城地区の認証に続き、昨年末から2022年2月の認証取得に向けて東富士区・岩手地区では勉強会を続けてきました。

12月：ガイドラインの概要勉強会を実施。

大枠ではISO14001とそれほど変わらないことを確認した。

1月：建設業・産業廃棄物収集運搬業の登録があることから、業種別の要求事項も見落とさないよう【解説】や【解釈】の部分まで理解を深めるために行った。
また、次年度取組のために、CO2削減アイテムを紹介した。

2月：計画や目標設定方法の勉強会を実施。

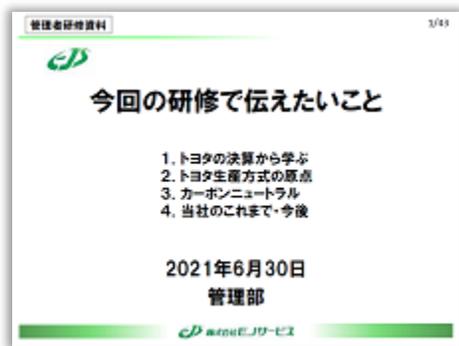
3月：ガイドラインの要求事項概要について勉強会を実施。
会社全体の環境活動計画を展開した。

4月：要求事項の再確認を実施。

活動グループ毎に実施事項を定め目標管理を開始。

2) 管理者教育・GL研修

今年は、「カーボンニュートラル」をカリキュラムに取り入れ教育を実施しました。



カーボンニュートラルとは、「仲間づくりが大事なこと」「EVだけが選択肢ではないこと」「エネルギー起源が脱炭素であること」などエネルギー政策がカギであり、ライフサイクル全体での取組みが大切であることを、管理・監督者自ら理解を深める教育でした。

実施方法は、東富士地区に講師を置き、岩手・宮城・山梨各地区をTV会議システムでつなぎました。TV会議は、移動により発生するCO2を防ぐとともに様々な無駄を省けることを学習しました。

1 2. 教育・訓練

3) 新入社員教育

本年は、新入社員2名に教育を行った。「地球温暖化」と「海洋プラスチック」両テーマに関し現状を伝え、「会社で何ができるか」「プライベートで何ができるか」を共に学習を行いました。

次 第	
1. 地球温暖化について考える	13:00-13:20
・ 現状説明	13:20-13:40
・ ディスカッション	13:40-13:50
2. 海洋プラスチック問題を紐解く	13:50-14:05
・ ディスカッション	14:05-14:15
3. EJサービスの環境活動	14:15-14:20
4. 感想文	14:20-14:30



新入社員コメント

環境問題の重要性や企業、各国での取組について学んだ。
また、社内の取組み（エコアクション21）を踏まえて意識を持ち、環境問題に取り組みたい。

4) 化学物質教育

過去に発生させた災害の再発防止と風化させないために化学薬品の知識を習得しています。

学習内容

1. 有機溶剤、有機溶剤含有物、有機溶剤等
2. 通知物質
3. GHS分類
4. 成分情報
5. 許容濃度・管理濃度 ちがい
6. 物理的・化学的物質
7. 適用法令
8. 水酸化ナトリウム
9. まぜるな危険！
10. 過酸化水素水
11. ボルトランドセメント
12. 作業場の濃度計算
13. 破過時間の計算
14. 硫化水素、一酸化炭素の発生
15. 剥離工エポキシ樹脂
16. 水素イオン濃度（pH）

1 2. 作業場の濃度計算

乾燥剤の取り現場



- ・ 使用量：K51ラッカーシンナー1L
(有機溶剤：トルエン含有量57% = 570mL)
- ・ 密度：0.867g/cm³
- ・ 分子量：92g/mol
- ・ 作業場の大きさ：125m³ (5m×5m×5m)

計算式

$$\text{濃度ppm} = \frac{\text{使用量mL} \times \text{密度g/cm}^3}{\text{分子量g/mol}} \times 22.4\text{L (1molの気体の体積)} \times 1000 \div \text{空間の大きさm}^3$$

代入してみる

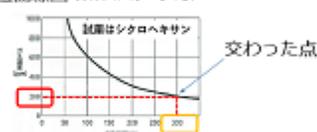
$$\text{濃度ppm} = \frac{570\text{mL} \times 0.867\text{g/cm}^3}{92\text{g/mol}} \times 22.4\text{L (1molの気体の体積)} \times 1000 \div 125\text{m}^3$$

答え 962ppm

1 4. 破過時間の計算

吸収曲線図(取扱書に付いてくる)

破過曲線図(取扱書に付いてくる)



計算式

$$200\text{ppm} \times 300\text{分} \times 1.50 = 962\text{ppm} \times a\text{分}$$

トルエンの相対揮発比

$$a \approx 93\text{分}$$

9. まぜるな危険！

トイレ掃除中、塩素ガスが発生し死亡

主婦のAさんが、トイレの掃除のためサンポールを使いながらキッチンハイターを混ぜてしまい、それにより反応したガスを吸引し死亡した。



次亜塩素酸ナトリウム6%



塩酸0.5%

+

= 塩素ガス



塩素が発生した

2021年度に実施した際の資料の抜粋です。

12. 教育・訓練

5) 工事現場での緊急事態訓練

旧自動車工場設備撤去工事現場で、工事車両からの油漏洩を想定した緊急事態訓練を実施。当社および共に働く協力会社の関係者14名が参加しました。決められた手順をもとに実施した結果、その手順の有効性を確認する事が出来ました。

<訓練の様子>

①実施前の教育・手順の確認



②漏洩発見



③漏洩した油をスピルキットで回収



6) 緊急事態訓練

アームロール車の作動油漏洩を想定し訓練を実施。スピルキットの取り扱い、漏洩部の処理、廃棄物回収、連絡など一連の手順を確認する事が出来ました。

アームロール車両



油漏れ発見



吸着フェンス



吸着シート



専用袋に入れる



漏洩部の処置



連絡



清掃



訓練者の感想

スピルキット搭載箇所の再確認及び対応手順を確認できて良かった。実際の作業中に起きててもあわてずに対処できるよう訓練を積み重ねてゆきたい。

1 3. 活動事例（東富士地区）

1) CO2削減の取組み（夏の節電 ゴーヤカーテン）

南向きで日当たりが良いため夏の暑さを和らげ、エアコンの稼働をおさえCO2削減に貢献したい思いでベランダにゴーヤカーテンを育てることにチャレンジしました。

生育の様子



水やり当番を決め全員で育てました。

実際どの程度CO2削減に貢献できたか数字上はわかりませんが、環境意識が高まりました！



実ったゴーヤをゴーヤチャンプルーにして美味しく頂きました。

2) 提案活動

廃棄物削減の事例

お客様の業容（自動車開発段階）で不要となった座席シートの廃棄処分を当社が受託しております。以前は、シートの姿のまま廃棄していたものを、分解・分別による廃棄物低減提案を当社が行ない、お客様の廃棄物低減に寄与する活動を行っています。

素材やパーツによっては分別が困難だったり時間を要したりと苦戦することもあります。ノウハウの蓄積や習熟度向上により年々分別率が向上しています。



13. 活動事例（岩手地区）

1) CO2削減の取組み（夏の節電 ゴーヤカーテン）

東富士地区に遅れること1ヶ月。南向きで日当たりが良いため夏の暑さを和らげ、エアコンの稼働をおさえCO2削減に貢献したい思いでベランダにゴーヤカーテンを育てることにチャレンジしました。

苗の植え付け



生育の様子



ゴーヤが育ってからは日陰になりエアコンの使用時間が短くなり、CO2削減に成功しました。

2) 提案活動

トイレ手洗い場の水の節水に着目。

蛇口タイプは水が出っぱなしになるので、センサー（自動水栓）により無駄水をなくしました。

水が出っぱなし…もったいない！

改善前



改善後



・蛇口タイプからセンサータイプの自動水栓へ切換え（6箇所）

【効果】 約63m³/年削減

13. 活動事例（宮城地区）

1) 事務用品のリユーススポットを設置

東富士事業所の活動を参考に、廃棄物削減と事務用品の円滑な再利用を目的として、リユーススポットを設置。実施状況は毎月のエコ委員会にて情報共有しています。



3Rにより、ごみを削減しよう！

SUSTAINABLE GOALS

リユーススポットの運用について

事務用品について、リユース（再利用）するための箇所（スポット）を設置しました。ここには、使用されなくなった事務用品が置いてあります。事務用品を購入する前に、在庫があるか確認をしてください。自分たちができる事で、SDGsに貢献しましょう！

リユーススポット 利用方法

- リユーススポットより持ち出す場合
 - 持出管理表に必要事項を記入して下さい
- リユーススポットに置きたい事務用品がある場合

【対象物】

 - 事務用品の中古在庫（クリアファイル、クリップ、電卓 他）
 - 新品だが、長期在庫としてある物（ペン、マジック、インデックス 他）
 - 各自の引出しの中で、自分は使用しなくなったが、他部署で使用するかもしれない物

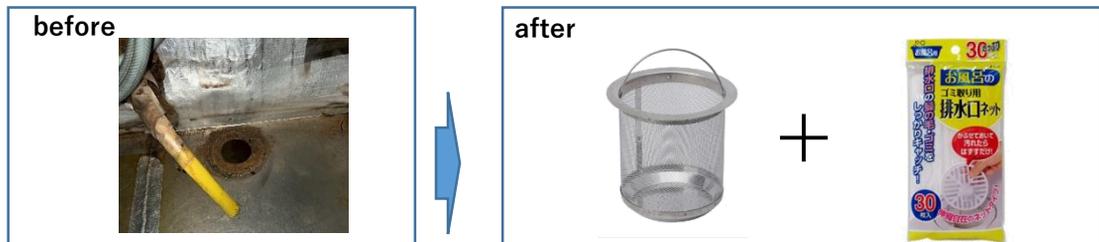
※ 私物をリユーススポットに置くことは出来ません

上記の物がありましたら、管理室の長まで持参ください。

2) 提案活動

《電力・水削減の事例》

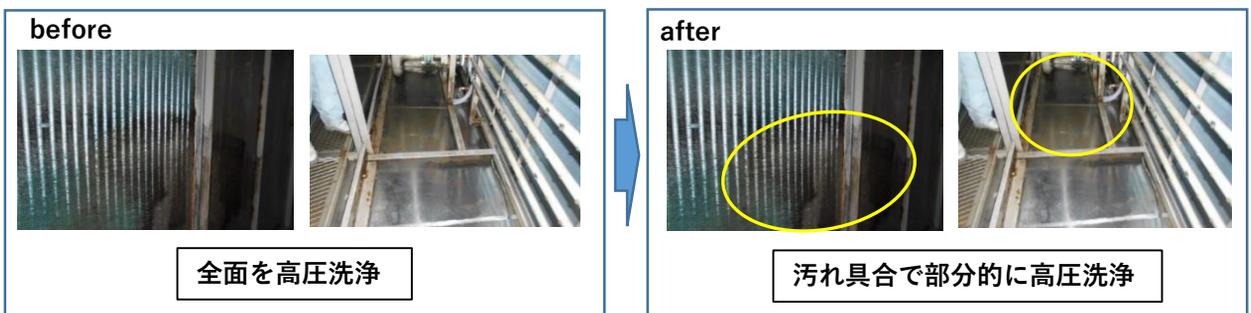
お客様の防錆台車の洗浄に水だけではなく、電着塗料カス、ヤニ、金ブラシのくず等清掃ゴミも一緒に排水口に流れてしまうため、定期的に配管洗浄を行っているが、排水口にゴミ受けのカゴとネットを設置することにより配管洗浄を廃止し洗浄時の電力・水使用量を削減しました。



【効果】排水量 400ℓ × 12回 = 4,800ℓ / 年
 電気 1.35kwh × 12回 = 16.2kwh 8.46kg-CO2 / 年削減

《電力・水削減の事例》

お客様の塗装設備（空調機室）の清掃を受託しており、設備の汚れ具合に関係なく、毎回全面を高圧洗浄していたが、お客様の許可頂いたうえで、特に汚れが酷い箇所は現状通り高圧洗浄機を使用し、汚れがあまりない箇所はウェスで水拭きに変更する事により、清掃時の電力・水使用量を削減しました。



【効果】約 4.348kg-CO2 / 年 削減

1 4. 社会貢献活動（東富士地区）

1) 美化活動（会社周辺）

小さなゴミが川から海に流れ込みマイクロプラスチック等になり魚などが食べて、人がその魚を食べます。美化活動は小さなことですが、自身や未来の子供たちの為に継続して実施していきます。

美化活動ルート



2) フードドライブ

家庭に眠っている食料などを集めてフードバンクに寄付する食糧寄付活動を実施し、フードロスにも寄与できました。

社内周知

東富士地区 結ぐG.O. 2021.8.17 実施期間：8月18日～27日

フードドライブにご協力ください

(期間：8月18日～27日)

★フードドライブとは
 各家庭などで使いきりかたない未開封食品等、社会福祉団体を通じて支援を必要とする人たちに寄贈する活動。 (社会福祉活動)

★提供をお願いしたい食品
 保存食品 (米、乾麺、缶詰、冷凍食品、缶詰 など) 菓子、ジュース、食用油など
 ・賞味期限：2年以上14日以内
 ・未開封
 ・包装や作業が破損していない
 ※提供不可：生鮮食品、酒類、保存水、もち米等

★収集場所 (持ち寄った食品は、数量000gに各自持ち寄りください)

総合C
 1F オフィス棟
 2F 労働組合事務所
 3F 中央 駐車場出入口

須山工場
 倉庫

2F 北エ B1F事務所
 階地下

成果



1 4. 社会貢献活動（岩手地区）

1) 美化活動（会社周辺）

業務で参加出来ない方もいましたが、28名の方に参加して頂き、町への社会貢献と健康促進に繋がりました。



タバコ、空き缶がいつも多い

美化活動ルート



「やぶの中、足元注意で」と声を掛け合って安全第一で実施しました。



今年も天候に恵まれ無事地域貢献が出来ました



2) エコキャップ運動

CO2削減活動として行っている「エコキャップ運動」



キャップをワクチンに変える活動を実施
[団体へ寄付]



エコキャップ運動は2018年から継続しています。

1 4. 社会貢献活動（宮城地区）

1) 七北田川クリーン運動&あゆ放流会に参加

仙台市泉区まちづくり推進協議会が主催ボランティア活動ごみゼロの日（5月30日）に合わせ、毎年5月末～6月初旬に七北田川周辺の一斉清掃とあゆ放流会が行われます。泉区民の皆さんに交じり清掃とあゆの放流をお手伝いしました。



田んぼに
大きなゴミ発見!!



綺麗になった
七北田川にあゆを放流



2) エコキャップ運動、フードドライブ

親会社のボランティア活動「結クラブ」と合同で、地域貢献活動「フードドライブ」活動を行いました。皆さんより提供いただいた食品等は、必要とされる子供たちに順次届けられます。



ペットボトルのキャップをワクチンに変える活動を実施しました。 [団体へ寄付]



15. 代表者による全体の評価と見直し・指示

1. 環境経営方針の見直しの必要性 あり ・ **なし**
2. 実施体制の見直しの必要性 あり ・ **なし**
3. 環境経営目標、環境経営計画、活動内容、社会貢献活動などに対して今後の活動への指示・要望・示唆など

各活動グループから報告を受けたが、それぞれが目標を立てて取り組んでおり、良くなっていると思う。

世界がカーボンニュートラルを目指す中、親会社も2035年までにCO2排出量実質ゼロを目標に掲げており、当社も同じように行動しなければならない。
そのためには、ひとり一人の「思い」が大事であり意識を高めることが必要である。
今ここにいる職制は自部署での意識向上に取り組んでほしい。
例えば、離席時PCのフタ閉めなどの細かい事柄も含め全員参加の機運を高めることで統一感が醸され、加えて良好なコミュニケーションの形成にも繋がると思う。

社会貢献活動は、SDGsへの貢献にも寄与し、それによってCO2の削減に繋がる。
当社にとって重要な取り組みである。
東富士地区は少し増やせると良い。また、岩手・宮城地区は、積極的な活動に感謝するとともに今後も継続活動をお願いします。

最後に、我々が取り組んだ結果は必然的に親会社への貢献にも繋がる。
全従業員に根付くよう意識を高め取り組みを続けて下さい。

2021年10月13日

環境統括者 川口 興志